

パラグアイの子たち
支援のチャリティー
千代田、元文相が活動にエール



南米パラグアイの農村の子どもたちなどを支援するミタイ基金(代表||藤掛洋子東京家政学院大准教授)のチャリティーイベントが7日、千代田区三番町の東京家政学院大学であり、元文相相で日本ユニセフ協会会長の赤松良子さんが記念講演をした||写真。

赤松さんは「1年間に世界で約1千万人の子どもが5歳に満たず命を落とす。適切な治療があれば救えるのに、特效薬やワクチンがなく助けられない悲しい状況がある」と紹介。「困っている人のために何かできるのではないか、何ができるのかと考えることは大切」と活動にエールを送った。

ミタイとはパラグアイの先住民の言葉で「子ども」を表し、基金では同国の農村に小学校を建設するための支援などをしているという。

ミタイ基金第5回チャリティーイベントの様子は以下のHPからご覧になることができます。

また、動画もお楽しみに頂けます。

http://www.yk.rim.or.jp/~yoquita/2009_fifth_event.html